



くわのみ

つなぐ・つながる・地域づくり「おおのさんちの手前みそづくり」

参加者の感想：増子 文子さん

講師の大野先生とお母様が、前日から下準備を下さったおかげで、受講生のほとんどがみそづくりをするのは初めてなのに楽しく行えました。麩を細かく手でほぐして塩と混ぜ合わせて塩麩にし、まだ温かい大豆はビニールに入れて新聞紙の上に置き、足でつぶしました。先生のお母様がアシストとして前でデモンストレーションして下さるからわかりやすく、形が残らない程度に潰れたら、塩麩と合わせて大豆を煮た時の水（種水）を使って、加減しながら耳たぶくらいの硬さまでこね合わせました。



おいしくな～れ、おいしくな～れ。こねながら小さい頃食べていた祖母の味噌を思い出し、できあがったみそを使って何を作ろうか思い描きました。保管場所と手入れが大切で、3か月後位から食べられるそうです。塩分控えめの優しいお味噌なので、落(フキ)味噌やネギ味噌にしてもおいしいとのことでした。講座を通じて知り合った方、久しぶりに再会した方。講座は今回で終わったけれど、顔を合わせたらお味噌のできを話したり、味噌を使った料理を教え合ったりすることができそうです。今回作ったみそを各自持参して、手前みそ比べというのも良いかもと、次年度の講座が春の訪れと共に楽しみです。



みつけたらよんでみよう おすすめの絵本

筆：たかみや みちこ

やさしいたんぽぽ

ぶん：安房 直子 え：南塚 直子



子猫を捨てなければならない女の子は、子猫を抱えたまま、どうすることもできなくて泣きながら助けを求めます。すると、近くに咲いていた、たんぽぽが光りだし、語りかけてきて・・・

不思議なことが次々と起こり、たんぽぽのやさしさだけではなく、女の子のやさしさも伝わる物語について引き込まれてしまいます。読み終えたあとも、「かなしさ」「あたたかさ」「せつなさ」「うれしさ」など物語の余韻が静かに心に残ります。

私が小学1年生の時に買ってもらった絵本なのですが、いまでも大切にしています。ぜひ、みつけたらよんでみてください。



青少年健全育成桑野協議会主催 “ものづくり講座・ポーセラーツ”

講師：海野 千代子さん

“ポーセラーツでオリジナルの食器を作ろう”の講師を務めさせていただきました海野千代子です。初めてのオリジナル食器づくりに子どもたちのキラキラした目と、大人では発想できない作品に私の方が勉強になりました。

物づくりの楽しさと、自分の思い描いた作風に集中して作り上げたマグカップやお皿は、とても愛着を持つことでしょう。毎回感じるのですが、子ども達の才能は素晴らしいです。私が思っている以上に作品に思いをかけて、そして、自分なりのストーリーを描いています。これからも物づくりということ、そして、大切に使うということをずっとずっと持ち続けていただけたらうれしいです。



青少年健全育成桑野協議会主催 “冬のお楽しみ会・3B体操&ビンゴ大会”

講師：佐藤 みどりさん、小野左起さん

冬のお楽しみ会で小学生対象に3B体操を行いました。初めて体験する子ども達でしたが、ウォーミングアップからボールで楽しくリズムにのって、ベルでは柔軟性をメインに、育成指導員や会長さん達もしっかりトレーニングしていました。ベル飛びアラカルトは、下学年・上学年に分かれて行い、子ども達はパワー全開でした。五輪ベルターでの一人縄では、最初でできなかった子ども達ができた時の「満面の笑顔」、私達にもうれしさが伝わってきました。短い時間でしたが、「とても楽しかった」との子ども達の多くの声で終わることができました。



佐藤みどりさん



小野左起さん

<紹介> 3B体操は、一昨年50周年を迎えました。子どものクラスは、健康的な体づくりを目的にしています。子ども時代の基礎運動力は非常に重要です。用具を使用し、音楽に合わせて体を動かしていくことで、リズム感と全身が鍛えられます。

